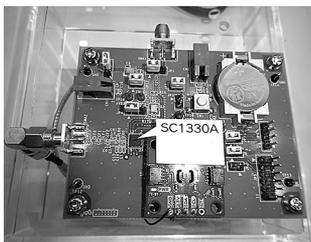


ソシオネクスト

ZETA g用LSI 中国で大型案件進行

(株)ソシオネクスト(横浜
市港北区)は、英ジープ
アイセンスおよびテクサー
社と共同開発したAdvanced
M-FSK変調方
式対応のZETA g用LSI「SC1330A」(4
×4mm、写真)のサンプル
出荷を7月から開始した。
量産出荷は12月を予定。ま
た、同LSI搭載のジープ
アイセンス製「ZETA g
モジュール」(42×21mm)
も2022年内の出荷を見
込む。先ごろ開催の「ロー
カル5G/IoT活用展」



(RX Japan(株)主
催)で実物をデモ展示した。
SC1330Aは、42
05930MHzを網羅し

て全世界の無線周波数に対
応。また、独自のRFIC
MOS技術でMCUとRF
の1チップ化を実現し、外
付け部品や実装コストを削
減するほか、デジタル・ア
ナログ混載による低消費電
力化も可能としている。
さらに、次世代ZETA
通信規格をサポートするA
vanced M-FS
K採用により、ユースケー
スに合わせて性能も向上。
例えば、通信感度は従来品
13dB改善し、時速100
kmの走行車両からでも通信
可能となる。また、50〜2
万bpsと柔軟なレート適
応も実現する。

agデモユースケースとし
て、商用車荷台の貨物事案
を紹介。マイクロ波で起電
(1mW)し、5分に一度、
各貨物のIDと温度データ
を送信することで、輸送中
の各貨物の温度をモニタリ
ングし、車室内では給電シ
ステムで充電するなどの用
途も想定されるという。な
お、日本国内では移動体内
でのマイクロ波送電は禁止
されている。

また、SC1330A搭
載のZETA gモジュール
では、中国でジープアイセ
ンス社と中国鉄塔、中国交
通通信連携による物流貨物
アクティブトレーサビリテ
ィー大型案件が計画されて
いるという。高速道路のイ
ンターチェンジにZETA
gアクセスポイントを設置
し、5分に1回発報。たと
えば商用車の荷台に混載の
車載部品をリアルタイムト
ラッキングする。

22年10月末には同アクセ
スポイント設置が完了する
見通しで、実現すれば年間
数十億個級の同LSI需要
が見込めそうだ。日本発の
ZETA g専用LSIで世
界標準を目指していく。

展示ブースでは、ZETA

